

第38回建築士事務所協会全国大会(東京)報告書

開催日時 : 平成26年10月3日(金)13時~19時

開催場所 : 帝国ホテル(東京都千代田区内幸町)

参加者(六支部) : 立田顧問、田島支部長、本間副支部長、八木副支部長、瀬戸常任監事

第38回建築士事務所協会全国大会が10月3日(金)曜日に開催され第六支部より5名が参加した。大会テーマは「東日本大震災の教訓と建築士事務所のこれから」とし、第一部ではシンポジウム、第二部では建築士法改正の報告がなされた。

日事連建築賞受賞パネル展示も同時開催されて、昨年第六支部主催の見学会の「大阪木材仲買会館」(竹中工務店)が最上位賞の「国土交通大臣賞」を受賞、表彰されました。また、大阪会からは「国土交通大臣表彰」を桶谷氏(第4支部)、「功労者表彰」を市岡氏(第4支部)が表彰されました。合わせて、福島県、長崎県が会員増強単位会表彰され、会員数減少に苦悩する大阪会がその単位会を模範にして会勢増強に取り組む必要性を感じた。また、大阪会・佐野会長も日事連副会長として壇上に列席された。

式典後の「建築士法改正の感謝のつどい」では、多くの国会議員の方々を招待して盛大に執り行われました。政治家との連携なくして建築士事務所の健全な発展が達成できないのかと日本政治の縮図を見せられたようです。毎回の全国大会で感じるのですが、このようなパーティーで全国の会員の交流を期待するのは無理があるようです。

来年の全国大会は、観光人気最下位と言われている「茨城県」です。関西では馴染みのないところだけに全国大会後の支部主催建築研修会はこだわりの企画にしますので多くの参加をお願いします。



帝国ホテル 3階 富士の間



左より八木氏、立田氏、田島氏、瀬戸氏、本間氏

1. 開催日時：平成26年10月4日（土）8：00～13：00
2. 見学場所：上野→谷中→千駄木 界限
3. 参加者：立田、田島、本間、八木、瀬戸 の5名（敬称略）
4. 報告

- ・ 全国大会の翌日は、「東京の下町を歩く」ために宿泊していた旅館（本郷三丁目駅辺り）を出て、まずは「湯島天神」を経由し上野を目指しました。
湯島天神は、雄略天皇2年に創建された天満宮で「湯島の白梅」でも有名な神社です。
- ・ 上野公園で最初に「西郷隆盛の銅像」を訪れ、「上野の森美術館」、「東京文化会館（改修工事中）」、「国立博物館」前を通り東京藝術大学の一部と「旧東京音楽学校奏楽堂」を見学しました。
- ・ 次に上野桜木交差点に有る下町風俗資料館付設展示場である、「旧吉田屋酒店」を見学しました。ここは、江戸時代から酒屋を営んでいた「吉田屋」の建物を移築したもので、明治43年に建てられたものだそうです。腕木より軒桁が張り出した出桁（だしげた）と言う構造が特徴の建物です。中には古い秤や樽、ポスターなどが展示されています。
- ・ 吉田屋酒店の前に建つ、「カヤバ珈琲」と言う古くから有る喫茶店は、大正5年に建てられたこれも出桁造りの建物です。この珈琲は、懐かしさを感じる香りと味でした。
- ・ 「谷中霊園」、「朝倉彫塑館」を経由し「谷中ぎんざ」を見学しました。ここは昭和の雰囲気を残す、賑やかでレトロな雰囲気のある商店街で、国内外の観光客で賑わっています。
谷中は上野台と本郷台の間に位置していたことから付けられたと言われているようで、寺が多くある地域で、大阪の谷町のような感じでした。



湯島天神



吉田屋酒店



奏楽堂



カヤバ珈琲



朝倉彫塑館



谷中ぎんざ

